



4.1961

# とっとり市報 108号



### 4月のこみよ

○市国民健康保険証更新(1日  
日まで) ○狂犬病予防注射(1  
各校区) ○乳幼児検診(同)  
○小児マヒ予防接種(10-15  
日) ○市戦没者合同慰霊祭(1  
6日景福寺) ○小中学校入学  
式(5、6日) 桜まつり(10  
日まで) ○世界保健デー(7  
日) ○婦人の日(10日) ○メー  
トル法発布の日(10日) ○発  
明の日(18日) ○天皇誕生日  
(29日)

【今月のモットー】 ○春の  
大掃除(月内) ○蚊とハエの  
幼虫駆除 ○緑化月間 ○春の  
観光月間 ○大火反省防火演習  
(17日) ○ケシ栽培指導月間

## 落陽

久利 湊子

砂の丘を越え

砂の谷を這い

― 茫漠の涯しない灰色に

ああ 一条のばらいろ

あなたは

あなたのいのちの重みを

ひとあしひとあし 私のなかに刻む

鳴りやまぬ私のきしみを確める

閉じようとする私の臉を

少しづつひらき まなこの海に

次第に高まる潮騒をきく

音もなく燃え落ちていく太陽よ

砂の粒は 重なり合い波打つ自からの

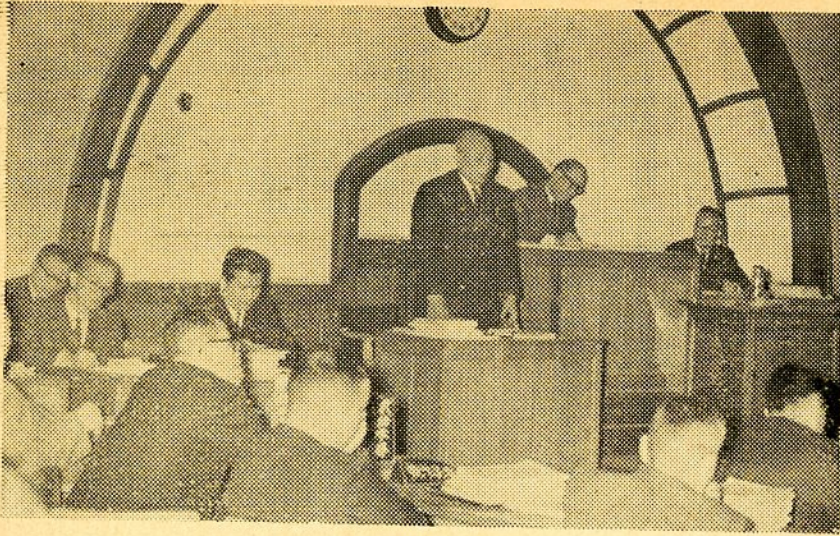
シルエットをかいいだき

いま

私の内深く 一条の泉になろうとする

# 新予算案など七十件審議

## し尿処理場の建設案も



※3月から4月は会計の年度がわりですが、4月からはじまる昭和36年度の市の新予算案や、35年度の最終的な追加予算案を審議する3月定例会市議会が、3月11日から開かれています。追加提案分を含めて70件に上る議案のうち、35年度追加予算関係の議案9件と市職員給与条例の改正など6件の議案は、3月15日原案どおり可決になり、いま、新予算関係の議案を審議中で、3月末には終る予定です。

写真は質問に答える高田市長と3月市議会の風景

### 一部の決定事項

3月15日可決分

#### ◇35年予算の追加七千万円

議案二二号から二二二号で可決された35年度予算の追加更正と起債の変更のうち主なものはつぎのとおり。

- 【一般会計】▽小中学校施設整備費二、五四九万円（湖北北、東中増築、日進、城北小建築へ）▽林道設置費三五万円▽湖山塵芥堆積所設置一四四万円▽トラック購入費一一〇万円（新市域の道路補

### 審議中の議案

3月15日

可決された35年度追加予算関係議案以外の主な上程議案と要旨はつぎのとおりです。

#### 衛生課の新設や

#### 住宅条例の制定も

- ①昭和36年度の市関係予算案（一般、特別会計、水道、病院）のうち一般会計新予算案は次ページをらんくください。
- ②昭和34年度の市関係決算認定（八議案）このうち一般会計では大火以来、はじめて一、二五二万円の赤字決算が目立っています。

- ③消防団員の費用弁償条例の一部改正、これは消防団員の旅費を一般職員並みに引き上げるもので日当三〇〇

修甲）▽大山観光開発KKへ五〇万円（出資）▽商工会館（三〇万円）同）▽小中校需要費へ七三万円▽生活保護費追加五三六万円▽耕種機付施肥播種二台七三万円（美穂裏作改善部落へ）▽農協合併促進費へ一〇万円

▽小児マヒ対策費一三三万円▽隔離病舎費一四七万円▽職員給与改訂費一、三一八万円▽県庁舎建設者付金七五万円▽国保会計と市民病院会計へ三九五万円など計七、〇三三万一千円が追加計上され

円宿泊一、一〇〇円  
④市契約条例の制定：契約に関する条例が三つもあったのを一つにまとめ、事務簡素化と内容変更。

⑤市国保条例の一部改正：4月から被保険者の出産、死亡に際し各一千元の新給付を行なうもの。

⑥市営住宅管理条例の制定：昭和34年、公営住宅法の大巾改正があったので、従来の市営住宅条例を相当改訂したもので、入居資格に所得基準の項が新設され、懸案の住宅間家賃の是正も盛り込まれています。

⑦小児マヒ料金条例の制定：予防接種料金は、実費を保護者からもらいますが、市民税の賦課されていない人

れました。なお、これに対する歳入としては、市民税、たばこ、電気ガス税の増収分二、一五二万円と、交付税八四八万円などを見込む。

◇雁金小は城北小に：千代水小と中ノ郷小を統合発足した仮称雁金小の校名は城北小學校ときまり、丸山三差路南西に約三千坪の敷地を購入することもきまりましたが、やがて新校舎の建築もはじまります。

⑧学校の新設：明治上原分校を3月限りでやめ細見地内に季節分校（冬三カ月間）をこしらえ設けるもの

⑩市分課設置条例の一部改正：市民サービス向上のため衛生課と厚生課を新設、戸籍課を廃止するもの。

⑪市公共下水事業開始案：ことしから七カ年計画、五億一千万円をかけて市内の下水道を整備、袋川下流には終末処理場を設けて、下水と、し尿を化学的に処理するものです。

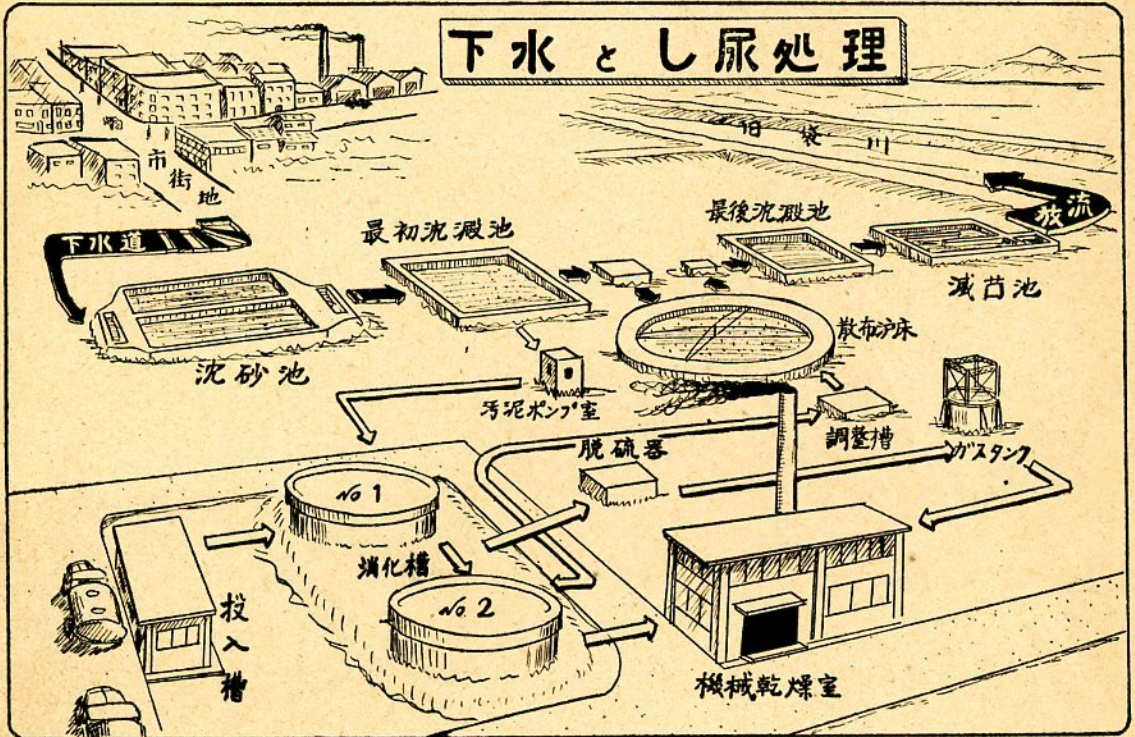
11万人のまかない（36年度市新予算案）

# 9億円の使いみち

公債費減り投資的経費ふえる

※昭和36年度の鳥取市才入才  
出予算案はいま市議会で審議  
中ですが、これはつぎのよう  
なものです。鳥取市は大火以  
来、赤字の返済に苦しんでき  
たのですが、その再建債も少  
しずつ減りつつあり、保健衛  
生費は二千六百万円、社会労  
働施設費も二千万円ほど増え  
ています。

ことしから1億4千万円をかけ六カ年計画で建設にとりかかる「下水とし尿終末処理場」は、近年はけ口の  
ないし尿問題を解決し、清潔な文化都市造成の上からも意義が大きい（下は完成予想図—し尿と下水は乾燥肥  
料と清水に生まれ変わっていく。はじめの二カ年で投入槽、消化槽などを完成させる）



## 【新予算の説明】

まず総体的な予算規模にお  
いて、36年度は大火による都  
市としての立ち遅れを急ぎと  
り戻し、住みよい近代的文化  
都市の建設を早めるため、し  
尿処理施設、駅南区画整理な  
ど大事業をはじめめるうえから  
前年の当初予算額七億九千万  
円を上回る九億二百万円の規  
模となっています。

### 失対事業へも三千万

投資的経費  
をみると

新予算の三〇%、二億六千万  
円が計上されており、前年の  
それより約四百万円ほど増え  
ていますが、昨年は伊勢湾台  
風の災害復旧が半分以上を占  
めていましたので、災害復旧  
事業分を除くと、前年より六  
千三五〇万円も増えています。

### 生活扶助へ一億円

へ三千万円。▼教育関係：北  
北小建設費三千万円をはじ  
め給食施設へも三五〇万円。  
▼産業経済関係：菟浦谷ほか  
林道二路線へ七五万円、土地  
改良へ一五五万円、動力噴霧  
機十台分二二〇万円▼保健衛  
生関係：し尿終末処理場建設  
費へ三千万円。寺町ほか四カ  
所の下水事業へ九百万円。▼  
消防指令車兼救急車と中短波  
無線設備へ一八八万円なし。

消費的経費  
これは予  
算の半分

五二%を占め、四億七千万円  
に達しているのですが、内訳  
は人件費が二億三千万円で約  
半分を占めていますが校舎、  
橋、道路などの維持修繕費、  
サービス向上の事務改善費な  
どを含む物件費も予算の一〇  
%、九千万円計上されており  
また生活扶助費の約一億円を  
はじめ一千万円の家畜導入貸  
付金など、その他の消費的経  
費約一億五千万円です。

借金返済五百万減る

公債費  
これは予算の  
一七%を占め

【主なもの】▼土木関係：永  
楽立体交差、富安一宮ノ下線  
など都市計画画街路事業へ四千  
五百万円。米里一門田線道路  
新設と大代橋ほか十一橋の新  
設改良費へ一千二百万円。台  
風災害復旧残事業費四千六百  
万円▼失対関係：五万一千人  
就労で路線補修、下水浚せつ

# 特集

## あたらしい

### 農業の方向

美保のコンサルト農協  
末恒の予託豚制度

棟を建築中で、4月末には完成の予定です。

なお、この共同養鶏は地区内の農業振興をめざす美保農協の振興計画モデルケースとしてすすめられているもので、鶏舎の建設費三百万円をはじめ、採卵に至るまでの経費六百万円のうち五百万円は農協から貸し出されています。

また、この人たちは共同養鶏を成功させるには他部門の共同化も必要なことを痛感、四戸の耕地の栽培計画も協議して先頃は馬鈴薯の植えつけも共同で行ないました。

#### ▼美保地区

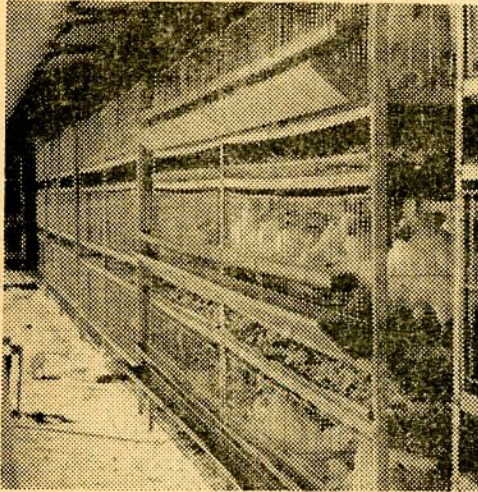
##### 四千羽の共同養鶏

市内的場の西山平次さん(48)ほか三人は、四戸共同で四千羽の養鶏を計画、すでに昨年末から四十九の敷地に鉄骨、自動給餌器つきの鶏舎四

##### 住宅跡に牧場

同じ美保地区、古市の新行雄さん(38)、古田正温さん(31)、森西辰良さん(30)の三人は、もと千代製紙の住

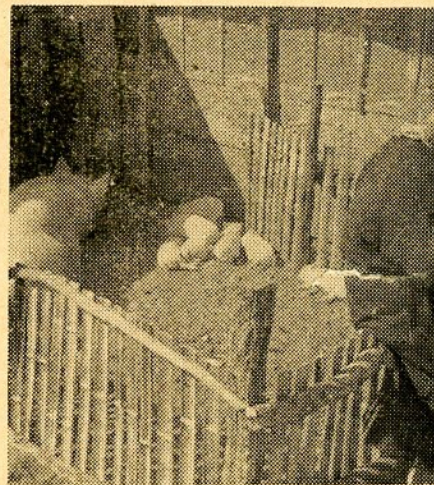
農業は人間の歴史とともに はじまり、わが国でも長年、 国の土台骨を支えてきまし た。しかし、もともと国土が 狭く、近年、著しい発展をみ せる都市工業に押され、零細 経営となり、ほかの産業との 所得のへだたりがひどくなり つつあるので、経営の近代化 を促進する目的をもつ農業基 本法が国会で審議されていま す。すでに新しい農業体勢 を実行に移しておいでのを例 をご紹介しましょう。産業の振 興はことしも市の一大目標と なっていますから…。



写真は延長60メートルもある牧場の共同養鶏舎(いま中ひな400羽を飼育中)



写真は伏野の養豚風景(留守番のお年寄りと豚の親子)



宅跡の敷地八〇坪に、デนมアーク式の畜舎を建築中で、こゝで乳牛三〇頭を共同飼育する計画。すでに乳牛も三戸が飼育していた八頭と二月末購入した九頭の計一七頭を飼育中。資金は七五〇万円で自己負担は一五〇万、あとは前記と同じく農協が融資。

#### ▼末恒地区

##### 目標三千頭の豚

一方、末恒地区では農協の預託豚制度が普及し、数戸共同の養豚が目立っています。この地区は吉岡、倉田地区など、県の預託制度の指定をうけ、いま地区内に三五〇頭、一戸当り一〇頭平均の肥育豚を飼育中で新式豚舎も一五カ所建っています。理事さん

の話によると本年中には一千頭、三年後には約三千頭、一戸当り三〇頭の多頭飼育にもっていき、出かせぎと零細農家の多い地区の副業にしたいとのこと。

##### 豚奨励へ市も一千万

市では36年度予算案に、一千万円の家畜導入貸付金を計上していますが、これは農協を通じて無利子で農家に融資し、近年有利な豚を沢山飼って大いにもうけていたかどうかというもので、範囲も共同飼育を対象にして、新しい農業のやり方を助成する意味をもっています。

#### コンサルト農協

市内の美保地区では、農協を中心に「コンサルト農協」ということがすすんでいます。コンサルトとは相談するということだそうですから相談する農協というわけですが、実質は農協が農家の経営のなかにまでとけ込んで、生産所得の向上をはかるとういものです。

具体的には、管内につきつぎ協同経営体(グループ)を育て、この技術指導はもとより、資金の面倒から補助金の手続き、日常経理、税金、法人登記などの仕事も一切農協でひきうけ、また生産物の販売、購入も一切農協を通じて行ない、経営体の人には作業日報を農協に出すだけで、経営面の苦労と心配から解放される毎月、生産に応じて給料を農協からもらうという方式で、農家と農協がひとつの社になり、田畑、酪農という工場を合理的に運転していくというもので、神奈川県ですすんでいるそう。

なお美保地区には農協に地元のエキスパートなど十三人から成る農業振興計画審議会が発足しており、昨年4月にはめん密な計画案もたて、同9月には地区内の実態調査を行なっています。

第3表 農家専・兼業別労働人口

	専従者			兼業者			兼業のみの		いづれもしない	
	男	女	計	男	女	計	男	女	男	女
16-59歳	3,193	7,475	10,673	4,040	1,064	5,104	1,454		1,738	
60以上	1,434	1,630	3,064	222	58	280	45		1,079	
計	4,632	9,105	13,737	4,262	1,122	5,384	1,499		2,817	

(註) 15歳未満の人員は男6,427、女6,020、計12,447人

農業専従者の13,737人は全体の33%で県全体の37.4%とはほぼ均しい(第3表)

※この調査で農家というのは、経営耕地面積が五畝以上か、または一年間の生産物の販売総額が二万円以上ある家です。

農林センサス報告 (市集計)

第1表 農家年層別人員

年層	男	女	計	%
15以下	6,427	6,020	12,447	34.7
16-19	1,202	1,296	2,498	7.0
20-29	2,385	2,632	5,017	14.0
30-39	2,167	2,364	4,531	12.6
40-49	1,646	1,898	3,544	9.9
50-59	1,605	1,743	3,348	9.3
60以上	1,984	2,484	4,468	12.5
計	17,431	18,453	35,884	100.0

本市の戸当り平均人口は5.9人であるが県全体では5.65人となっている(第2表)

# 農業は女で

労働人口 男の専従わずか20%

先号に続いて世界農林業センサスの結果をお知らせしましょう。  
 【昭和35年2月1日現在で】  
**家族は一戸約六人**  
 問：農家総人口と構成比はどのうでしょう。  
 答：総人口は男一七、四三一人、女一八、四五三人で計三五、八八四人でしたから、総戸数六、〇三七戸の平均は一戸当り五・九人です。その構成は第1表のとおりですが、16歳から19歳までが七%で最も少ないのが目立ちますし、60歳以上の高令者が一二・五%あるのは農業経営に占める

ウエイトからも注目されますね。  
 問：世帯員数ごとの内訳は？  
 答：第2表のとおりです。五人から七人の世帯が約六〇%を占めています。家族十五人という世帯もありました。  
**出かせぎは教員など**  
 問：ところで、農業に専従している人と、ほかの人の割り合いはどうでしょう。  
 答：第3表をみてください。この表は16歳以上の農家の労働人口の内訳ですが、16歳以上二・三、四三七人のうち、五九%の一三、七三七人が農業専従者ですが、このうち、男の四、六三二人は労働人口の二〇%にしか達しませんし、本當の働き手、16歳から59歳

の専従者は、男三、一九八人女七、四七五人で、女が三分の二ですから、農業は女によっていとままれるといえるでしょう。一方、この属の兼業をみると、男の出かせぎが圧倒的に多く、女の四倍です。  
 問：出かせぎの兼業者の職種は？  
 答：つぎのとおりです。  
 事務員、教員など：三二・四%  
 賃労働者：二四・〇%  
 自営業者：二三・二%  
 人夫、日雇：二〇・〇%  
 役職：〇・八%  
 季節出稼：〇・六%  
 計(六、七八八) 百%

の専従者は、男三、一九八人女七、四七五人で、女が三分の二ですから、農業は女によっていとままれるといえるでしょう。一方、この属の兼業をみると、男の出かせぎが圧倒的に多く、女の四倍です。  
 問：出かせぎの兼業者の職種は？  
 答：過去一年間の農産物販売粗収入を調べました。第4表をくらってください。なお、自家消費は除外しています。これとみると市で八億五、六〇〇万円の売上げがあり総戸数平均一四一、九〇二円となりますが、耕作反別ごとの内訳では、やはり零細農家は少なく、大農家になるほど売上げも増えています。生産物部門別の販売状況や農業機械のことについてはつきにお知らせしましょう

販売高一戸一四万円

第2表 世帯員別農家数

家族数	戸数	%
1	43	1.3
2	196	3.6
3	372	6.1
4	714	12.8
5	1,062	18.3
6	1,329	22.2
7	1,147	19.1
8	673	11.1
9-10	434	7.1
11-15	67	1.1
計	6,037	100

第4表 耕地広狭別販売額平均

経営面積	戸数	平均販売額
3反以下	947	9,883円
3-5反	807	34,455
5-7	882	75,621
7-1町	1,453	138,850
1-1.5	1,567	258,720
1.5-2	330	372,963
2-2.5	30	511,356
2.5-3	4	621,352
3-5	—	—
5町以上	—	—
例外農家	17	—
計	6,037	141,902

# 市ネズミ退治成果

## 一二万二千匹がお陀佛

西尾さん(横枕)は一三〇匹も

1月10日から2月末まで、県下一せいに行なわれた「ねずみ退治県民運動」は、鳥取市でもご家庭や町内部落ごとに行なわれてもらいましたが、衛生係の手もとにまとまった結果をみますと：

「〃〃〃〃〃〃」  
一世帯で約一匹  
「〃〃〃〃〃〃」  
鳥取市の捕獲総数は  
二二、二〇三匹でした。この

結果、市民一人当り〇・二匹  
一世帯で〇・九匹のねずみを  
捕ったこととなります。  
「〃〃〃〃〃〃」  
鼠のいない市街地？  
個人、地区別の成績はつき

経済連ビルで)

### ネズミ退治成績

- ▼個人(五位まで) ①二〇匹：(以下地区別一戸当り)千代水(四・五)松保(三・四)末恒(三・四)美穂(二・六)大郷(二・六)長寿(宮谷)②六匹：山下繁(二)神戸(二・一)東郷、湖出、蔵(上砂見)④五匹：渡辺光昭、賀露(二・〇)吉岡、明治(一・一)(高路新田)⑤五匹：松本隆蔵
- 九 米里、明徳、稲葉山 〇
- 六 醇風、修立、日進、面影 〇
- 三 富榮、久松、辻喬、中ノ郷
- 〇・二 美保 〇・一
- 〇・二 大正 〇
- 〇・一 大和、五九〇(六・〇)

有線放送でPR(大和)

▽このたびのねずみとり運動で、市の方は三万匹を目標にしていましたが、二万匹に終りました。これは毒餌や捕獲器を仕掛ける前の環境整備(食物をかくしたりすること)が徹底されなかったことによるとみえます。一人で一三〇匹もおとりになった横枕の西尾さんは、主としてねずみとり器を使いテンブラや魚の頭と餌を変えたのが好結果を挙げた原因とのこと。なお、地区一位の豊実地区では一人二匹を目標に、期間中三回にわたり一せいに実施、今後も地区の年中行事として継続する予定、また大和地区では丁度で上がった有線放送を通じてPR、4月にも野ねずみの一せい駆除を計画。

パン券を進呈  
市では五匹以上とられた家庭に(約五百世帯)西町、亀井寛さん寄贈のパン券をさし上げました。

### 環境衛生大会

4月は「カとハエの幼虫駆除運動」の月ですが、市では3月28日、市立児童会館で鳥取市の環境衛生大会を開きました。

◇鳥取市環境衛生大会

## 掃除の大あさ

### 人が浮かれりや病魔もおどる

今町一丁目、大森町四区、上段) ②体験発表(右表彰地区) ③環境衛生協会の設立について ④講演(殺虫剤)

※市環境衛生協会の目標Ⅱ実践会の育成と拡張、指導、講習会の開催、防疫、駆除の普及、徹底。モデル地区の育成指導、施設の改善。  
▼ながい冬が明けて、やわらかい春の陽ざしとともに花も開き心も開いてきます。しかしこの人の浮いたすき間にいろいろな衛生害虫も活動をはじめます。そしてとてもない病気に取りつかれます。しっかり心をひきしめて伝染病を防ぎ楽しい春を迎えましょう。

## ここを一寸

固定資産としての鳥取市の評価は

### 固定資産としての評価

①田、畑、山林 ②宅地は一五%あがる  
宅地のうち、旧市内の一部については、昭和29年に路線価格(道路の状況による土地の価格)によって評価を行な

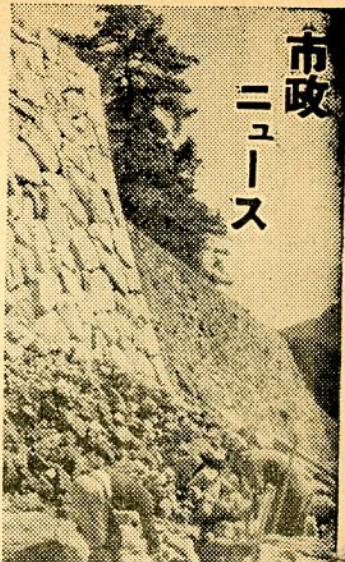
したが、なかでも、とくに地理的条件のよくなった富安駅裏地帯、岩倉街道筋、西品治地区は平均三倍ほど上がっています。  
木造で平均二一%上がる

### 償却資産

これは従来と変わりありません。なお、ことは固定資産評価の基準年度になっているため、ことしの評価価格は、物件に変動のない限り87、88年度も課税の基礎に使います。

# 市政

## ニュース



### お城修理と

#### 桜まつり(右)

昨年末から施行中の鳥取城址、三階櫓跡の石垣修理35年度工事が3月末終了しました。国から文化財に指定され、鳥取城址の石垣修理は、34年から毎年百万円づつかけ、五年がかりで修復する計画で、このたびは城址でも一番重要なもと三階櫓跡に三メートル巾の新しい石垣を築きました。

なお4月1日から10日まで桜まつりで、例年どおり二の丸にボンボリをつけますし登り口には大照明灯もつけます。なお4月は観光月間です。

#### 大正保育所完成(下)

古海、大正小のすぐ近くにスマートな大正保育所が完成3月26日、竣工式が行なわれました。この保育所は木造六四坪三教室ですが、小さいホ



#### 米つくりの優勝生

#### 米多収穫者を表彰(下)

市では3月14日、第八回(昭和35年度)米多収穫共進会の表彰式を市長室で行ない、つぎの入賞者の方々に市長から賞状と賞品(毛布など)をさし上げました。

◇入賞者(カッコ内は品種と反当収量)―敬称略―  
収量賞の部(個人)

- ①正蓮寺、上田春雄(千本旭四・一石)
- ②大塚、清水晴光(金南風三・八石)
- ③野坂、山岡貞美(同三・七石)
- ④国安、懸樋茂昭(ほうき旭三・七石)
- ⑤山口、山根音次郎(中生千本三・六石)
- ⑥国安、種田孝徳

#### (ほうき旭三・六石) 有富

本多林蔵(金南風三・五石)的場、佐々木達雄(三・四石)グループ賞の部 ①馬場乳稲研究会(宮崎益雄、奥田正雄、西垣保) ②グループ平均反収三・三石③服部土の会(依藤伊太郎、中山茂、中山藤一) ④グループ平均反収三・二石



#### 谷口消防団長



#### 黄綬褒賞(消防)(右)

4月17日は大火記念日ですが、本市の市会議員で玉津の谷口基一さん(57)は、このたび消防功労者として黄綬褒賞を受賞されました。これは大正10年から消防団に入団以来、大和村団長など四〇年にわたり消防に尽力されたことによるものですが、胸の勲章は功績賞など延八回に上る消防関係のものばかりだそうです。なお同氏は火の用心を皆さんにお願いして下さいと結ばれました。

#### 婦人学級の発表会

文部省と鳥取市指定の婦人学級の発表会が、3月26日賀露小学校でありました。

#### 朝市ひらく吉岡学級

この日の吉岡学級の発表により、吉岡地区婦人会では、農村婦人の収入をふやし、社会学習にも役立てる意味から、婦人会の主催で野菜の朝市を開いています。これは昭和34年の7月からはじめられており、毎週水、土曜日の朝7時、各戸の生産物を

## 郷土史物語

### 鳥取市史より

#### 真音の町割り

光政入鳥に伴なう袋川の改修、町割りなどを設計したのは光政の家老、日置豊前といわれているが、佐善真音という人が拡張の普請奉行に当たった。

真音設計の地割りには、原則として一つの町をタテ四〇間ヨコ六〇間とし、町並みの裏行き(家敷になるところ)を一八間にきめ、中間にできる四間と二四間の空地を悪水抜き堀にして外堀から袋川へ流した。

また、全体的な構成も、鹿野、智頭、若桜の三口に三筋の大路をたて、これと直角に片原、本町、二階町、元魚町川端の五路線を通した。

この結果、拡張された物門外南方には、三八の町が生まれ、以前からある材木町、江崎町を合わせて物門外には四〇の町ができた。

なお、新しい町の名まえはそれぞれ職業種を表わすものが多くつけられたが、上、下魚町は魚屋町から、鍛冶町は鍛冶職の多かったことから名づけられたものであったし、本町、二階町などは姫路の町名をつけたものらしい。

# 春の乳幼児検診へ

春の乳幼児検診をつぎのおり開きます。近くの場所をぜひ受診してください。なお校区ごとに優良乳児を男女二名づつ選び、5月初旬、市赤ちやん保健コンテスタを行ないます。

- ▼日にちと場所
- A (1時から3時まで) 5  
日 東郷公民館 6日 美穂同 10日 覚寺と大和同 11日 大正同 13日 美保  
醇風小(4時まで) 14日 稲葉山小、明治公民館 19日 上砂見公民館  
B (9時から11時まで) 7  
日 面影公民館 8日 米里同 10日 浜坂同 15日 吉方四区観音堂
- C (10時から3時まで) 12  
日 日進小 17日 修立小 18日 富桑小 19日 倉田小 21日 湖山小 26日 児童会館
- ▼検診は生後十八カ月までの乳幼児。(コンテスト該当は昭和35年に生まれた人) ※なお、賀露、吉岡、豊美、松保、大郷、末恒、千代水、久松、明徳は三月実施済

## 市役所の機構改革 衛生・厚生課を新設 戸籍課は市民課へ

鳥取市の人口  
(2月末日)  
男 53,248  
女 57,306  
計 110,554  
26,577世帯

市では3月市会に分課設置条例の一部改正を提案していますが、これはつぎのようなもので、原案どおり決まると4月から実施します。

①衛生課を独立 まず、衛生業務が多くなったので、市民課内の衛生係を独立、衛生課として一般衛生、防疫清掃を分担します。

②厚生課も設置 つぎに厚生課を設けていま福祉事務所内でやっている社会係の仕事と、市民課内の住宅係、保険課内の国民年金係の仕事をやります。

③戸籍課は市民課へ 戸籍課は廃止して市民課に吸収し、ここで配給、戸籍、住民登録、印鑑、その他の証明や市民相談などの仕事をひきうけます。

事務改善を計画 ▲市では事務能率とサービス向上のため、昨年末から事務の合理的改善を計画、委員会で構想を練ったり、先進地を視していましたが、先月から会計機、宛名印刷機、電動印刷機などの新式事務用機械を購入、正面玄関突き当り選挙管理委員会の部屋を機械室としてこれらの機械を据えつけ、いま選ばれた職員が機械の操作を熱心に習得中です。▲これまでのお役所は、あちこちの窓口を回らなければ用が達せられませんでした。最近はお客さん本位に仕事をすることが全国的なモットーで、役所のシステムも改善されていますが、鳥取市でも新庁舎の建設とあいまって、遂次、本格的な事務改善を行なう計画です。

## 犬の登録と注射

- ▼対象 生後九〇日未満の仔犬を除く全ての犬  
▼料金 登録手数料三〇〇円 狂犬病予防注射料一五〇円 注射済証三〇〇円 計四八〇円(定期以外は一〇〇円増しになります)
- ▼日にちと場所(公民館) 6 日 湖山(9・30-10・30) 同日 神戸(11・20-12・0) 7 賀露(11・0-12・0) 同日 日明治(10・30-11・30) 10 影(9・0-10・0) 25日 倉田(9・0-10・0)  
日 大郷(9・10-10・0) (小学校) 11(10・30-13・0) 同日 同吉岡(10・30-11・30) 11日 豊美(11・0-12・0) 13日 米里(11・30-12・30) 21日 富桑・稲葉山(農協) 25日 美保、倉田(9・0-10・0) 26日 千代水(8・30-9・30) 同日 中ノ郷(10・0-11・0)  
市役所) 23日(9・0-12・0) カッコ内は時刻です。17日 大正美穂(同) 24

## 国保 4月10日までに 保険証の更新は

本紙の前号で4月1日から国民健康保険の被保険者証を更るようおしらせしましたが、これを一日間延期します。これは、本年度(4月1日)から助産費や葬祭費を千円づつ新しく給付するための条例改正案の議決(3月定例会議)をまった関係であります。したがって保険証は4月11日に更めますので、今までのものは4月10日まで使ってください。

新しい保険証は 賛助団体に加入の方：団体で保険料を納められる方にはその代表者の方にお願してお渡しします。その他一般の方：旧市域は各校区毎に係員が各小学校などにてお渡しいたします(迂喬校区は市役所保険課へおいで下さい) 新市域は各地区の公民館主事が交付の取りつきをしますから申し出て下さい。

【場】 所や日時については、その前日に広報車でお知らせします。届かない方は

もし4月8日頃までに届かない方は一応団体の代表の方が公民館主事に問い合わせ下さい。なお、わからない方は直接保険課に申し出て10日までに必ず交付をうけて下さい。

## 編集室

「タイトルかわる」 広報紙も一〇八号を数えるに至りましたが、本号からこの小冊子タイプに変え、タイトルも「とっとり市報」と改めました。従前の「広報鳥取」にも増してご愛読ください。(本号表紙の詩は栗谷町の詩人、久利淡子さん、写真は太森町の永見馨さん撮影) 企画広報係



# 県政だより

鳥取県企画広報課 印刷所 日本海新聞社

## 36年度鳥取県予算

### 後進性打開へ積極予算 産業基盤強化と民生安定へ

鳥取県の昭和三十六年度予算は、一億五千五百五十万に達しました。

この予算は三十五年度の当初予算に含まれた災害復旧費をのぞくと、二億五千五百五十万増加という大きな予算であります。これは、国の長期経済計画にもなっており、行政水準の向上を図る方針のもとに、必要な財政措置が考えられる方針なので、本県の財政も安定と伸びを期待できるようにするからであります。

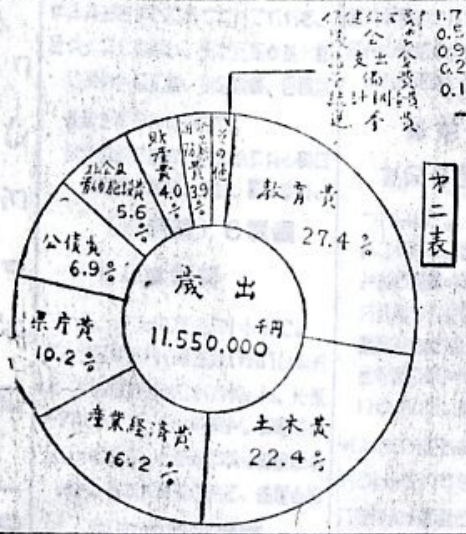
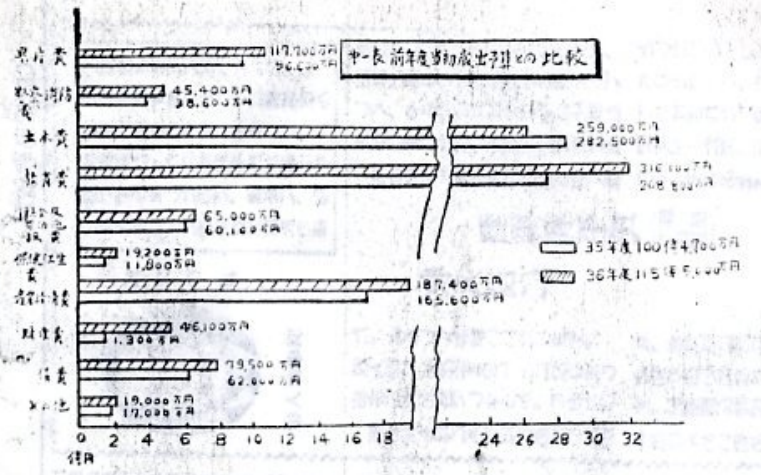
今年度の予算は四つ柱として次の重点方針を中心に編成されています。これらも本県の後進性打開を一つづつ

### 再び教育費が最高 一般土木事業も増加

歳出予算の内訳は第一表と第二表のとおりですが、昨年の最高だった土木費に比べて、例年のとおり教育費が約二億円（全体の二七・四％）で最高位になっています。

教育費の内訳は、教職員の人件費が最大で占められていますが、教育施設の充実、職業教育の振興など積極的な方針もおりてきています。

土木費は前年度に含まれていた災害復旧事業費が、復旧事業の進捗により、一億七千九百二十万（一・七〇九二億）に減少しています。



### 産業経済費は 昨年の一六％増

産業経済費は一億六千二百五十万、前年度に比べて一六％増加しています。

この増加は、産業基盤の強化、中小企業の振興、社会福祉施設の拡充を中心とする民生安定に関する施策です。

### 地方交付税が大巾増加 固有財源も伸びる

地方交付税は八億八千〇〇〇万円、前年度に比べて一・五〇億（一七・五％）増加しています。

これは、国の長期経済計画にもなっており、行政水準の向上を図る方針のもとに、必要な財政措置が考えられる方針なので、本県の財政も安定と伸びを期待できるようにするからであります。



### 根幹は道路整備事業

今年度予算のなかで、目ぼしいものは、道路整備事業です。これは、国土の発展、交通の便、産業の振興、観光の促進など、あらゆる面で重要な役割を果たしています。

今年度は、道路整備事業に二億二千万円を計入しています。これは、前年度に比べて一億九千万円（約二倍）の増加です。

海外港用地造成に着手

海上交通の拠点として、また、

### 引揚者(遺族)給付金 請求は五月十六日限り

引揚者(遺族)給付金の請求は、今年五月十六日(日)が期限です。この期限を過ぎると、請求ができません。

請求は、引揚者(遺族)の住所地の市町村役場に提出してください。

農林振興局を 五地区に設置

農林の半数を占める農家の所得を、他の産業に劣らぬようにするために、農林振興局を五地区に設置します。

養老院と整肢 学園の移転改築

養老院の整備と整肢学園の移転改築が完了しました。

倉吉職業訓練所に ラジオ、テレビ科

倉吉職業訓練所にラジオ、テレビ科を設置しました。

四月 清明 五月 立夏

四月の行事と五月の行事の予定が発表されました。

四月 清明 五月 立夏

四月の行事と五月の行事の予定が発表されました。

山や森に閉ざされて暮らしていた遠い祖先から受け継いだ精神が生きているからだとわれわれ、緑は希望と安らぎの色だとされています。

緑は、自然の恵みであり、人間の生活に不可欠なものです。緑を守り、育てることは、私たちの未来を明るくする鍵です。

教育の機会均等を

教育の機会均等を確保するために、教育費を増加させ、教育の質を向上させます。

全体の九割完成

全体の九割完成を目指して、事業を進めます。

春は羽根から ミドリから

春は羽根から、ミドリから、緑の季節を迎えます。

山火事を防ごう

山火事を防ぐために、防火帯を設置し、火の元を絶やします。

五月 八十八夜 六月 夏至

五月の行事と六月の行事の予定が発表されました。

五月 八十八夜 六月 夏至

五月の行事と六月の行事の予定が発表されました。

テレビ放送開始(毎月第2月曜)  
 (日本海テレビ・チャンネル1)  
 鳥取  
**市政の窓**  
 第1回  
 4月10日(月)午後1時20分から

# とつどり市報

鳥取市新市町村建設計画を推進するために必要な「役所事務の改善」を、いよいよ4月1日からはじめました。この改善は、市民の皆さんの権利、義務に關係のある基本台帳を集中して、その窓口業務も一方所で簡単に取扱うようにするとともに、計算事務や文書事務も機械化して集中し、皆さんに便利で、しかも役所業務も大いに効率をあげようというものです。このために機関も変わり、人事異動も行なっており、新しい体制で仕事を始めました。

ご利用はまず市民課へ

## 窓口事務を一本化

4月から ↓ 新しい市役所の機構

### 市民相談室新設

まず、市役所事務の案内、相談や苦情などの受付、応待を行なう市役所サロンの機能を設けます。市民の皆さんの市役所においでなさい、不案内なことがおありのこと相成りしてきます。ぜひ、ご利用ください。

### 窓口専門課

(市民課)の設置  
 市民の各種申請、申請書、印鑑証明などの受付、交付を行なう窓口業務が集中されました。

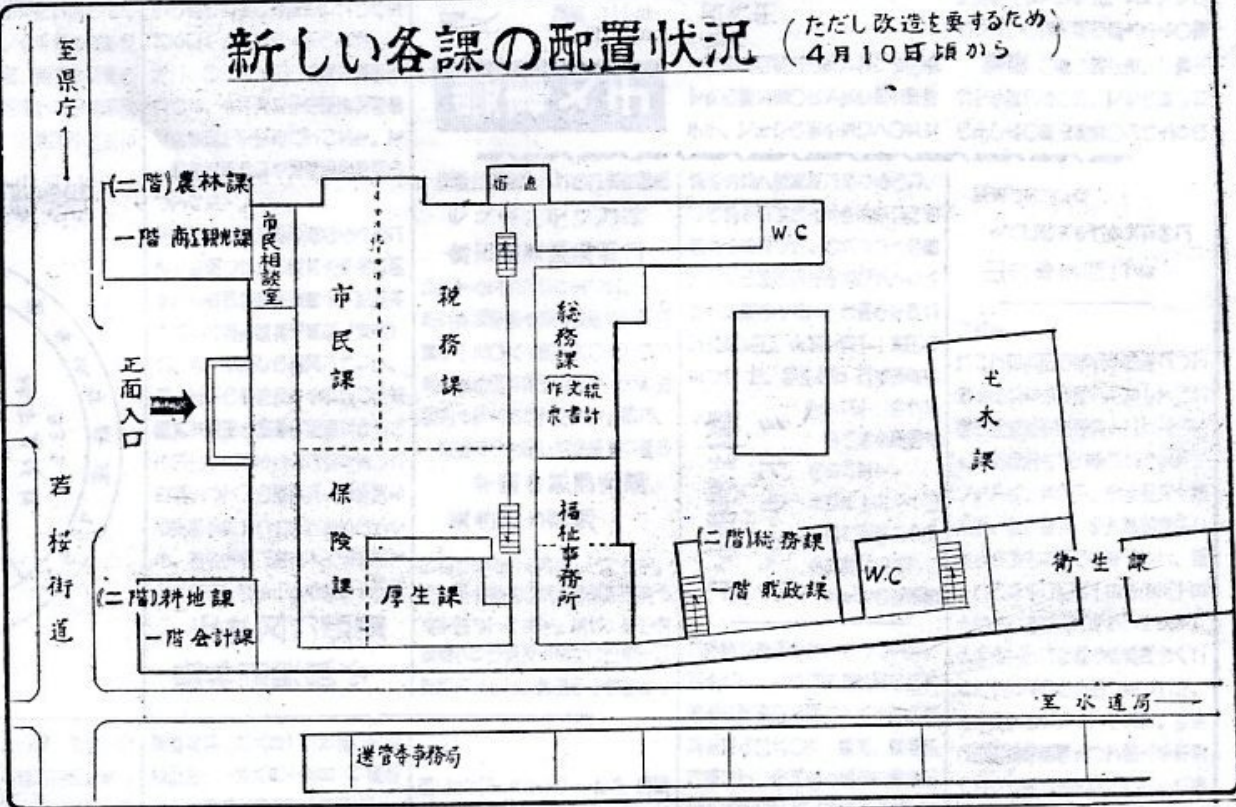


羽場収入役

就任の辞

収入役だった橋浦雄太郎氏の任期が満了したため、後任として、総務課長だった羽場利平氏が選ばれ、3月市議会の承認を得ました。なお、羽場氏は20年間にわたって橋浦さん(ご苦労)をさせていただきました。

### 新しい各課の配置状況 (ただし改造を要するため) (4月10日頃から)



### 文書事務も集中化

文書は役所事務の根本となるものでこの取り扱いについては常に注意を払い、早く、確実にこなされるよう努力しているのですが、これまで各課でつくられていた文書も総務課の文書係に集中し、受付から発送までの事務を一つの体制で行ない、事務処理の効率化を図ることにしました。

### 火の元にご用心

大火記念日4月17日  
 大火を防ぐ第一は火事をおこさないこと、小さな火の粉からでも燃える程乾いている薪や草、次のことさらに用心して、火事をおこさないように心願しましょう。

### 計算事務の機械化

市役所事務のうち市税、国保料の賦課や職員の給与などの計算事務や、書記的業務(徴収台帳、台帳、明細の作成)を能率的に行なうための機械化しました。このため会計機一台と算盤印刷機一台をそれぞれ、現在には固定資産税の賦課計算と台帳作成に、いままで直接支払っていたが、

### 収入役に

羽場利平氏(前総務課長)が円滑な力で、前任の橋浦さん(ご苦労)をさせていただきました。

## 鳥取市の新機構一覽表

36.4.1

